

人物図鑑

ねむろを愛する
素敵な人たち

限られた資源と、美しい環境を引き継ぐために！

市内明治町

奥田おくだ珠子しゅうこさん
(41)

さわやかな秋晴れとなった10月5日の日曜日。市役所前庭で開かれた根室市主催の「青空バザール」では、出店する家族や団体らが持ち寄った品々が所狭しと並べられました。「青空バザール」は、14年前から開催されています。今年も会場には、開催当初から友人と参加している奥田珠子さんの姿がありました。

「子供服などを持ち寄って、毎年参加しています。成長の早い子どもたちの服をそろえるのも、家計的には大変な負担になります。少しでも、不用品のリサイクルができればと考えています。」家庭に眠る不用品も、必要な人が見つければ格安で手に入れることができる。『最高の品』に変わります。バザー開始時間には、会場は多くの市民の方々にぎわいました。「顔なじみとなった方と、気楽に会話を楽

しめることも、バザーに参加する魅力の一つになっていきます。」と、一品一品のサイズや使用方法を説明する奥田さんからは、はつらつとした笑みが見られます。

かたわらには、お手伝いをする子どもたちの姿がありました。「物を大切にすることを知ってもらうためにも、子どもたちと一緒に参加していきます。次の世代へ限られた資源とこの環境を引き継ぐためにも、家庭内でのごみの分別はもちろん、ごみを減らすことも考えていきたいと思っています。」と、ごみとして扱われてしまう物の多さに、将来の不安を感じるといふ奥田さんです。

ごみ処理には、多くの手間と経費を必要とします。また、処理によって発生する有害物質や処分場の問題なども生まれてきます。

根室市では、平成19年度で1万8千トンを超えるごみが搬出され、8億7千万円以上の経費をかけて処理を行っています。ごみとして処分する前に、再利用できるものを見つけ出し、「青空バザール」などのリサイクル活動へ、皆さんも積極的に参加してみたいかがでしょうか。